

平成28年10月12日

2016年度 大阪市全市研究会 英語部 公開授業指導案

大阪市立旭陽中学校
教諭 新川 美幸

日時 平成28年10月12日(火) 14:00~14:50

場所 大阪市立旭陽中学校 体育館

学級 大阪市立旭陽中学校 2年2組 36名(男子18名、女子18名)

生徒の習熟の程度は様々であるが、日頃からペアやグループで言語活動やカードゲームなどの活動を取り入れており、生徒たちは積極的に取り組んでいる。活動中は非常に雰囲気がよく、互いに助け合い、学び合っている場面が多い。

また、生徒たちはタブレットを使用した学習を非常に好み、タブレットを使用して行った内容は非常に鮮明に生徒たちの記憶に残るようである。各単元でタブレットがどう効果的に使えるかを考え、生徒が主体的に学習できるように心がけている。

単元名 New Crown2 (三省堂出版) Project1 有名人を紹介しよう (P.38.39)

【単元の評価規準】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
自分の意見や考えを表現しようとしている。 積極的に他者に伝えようとしている。	自分の好きな有名人について8文程度の英文で説明することができる。 内容が正しく伝わるように発表する。・	友達の発表について英文を聞き取り、理解することができる。	スピーチ原稿を書く際に使用する語句や表現、文構造、文章の構成方法などを知っている。

【単元の指導計画(全8時間)】

- 第1時 マインドマップで自分が紹介する有名人についてブレインストーミング
パワーポイントを作る際の注意点を学習、パワーポイントの作成
- 第2時 「使用する文法項目の表現」の復習 “I think that~, If I can meet him or her. I want to~”
パワーポイントの作成
- 第3時 ICT クラブルームイングリッシュの導入、パワーポイントの作成
- 第4時 原稿の作成、パワーポイントの作成
- 第5時 原稿の完成、パワーポイントの完成
- 第6時 発表時(話し手側、聞き手側)と発表後の注意点についてブレインストーミング
タブレットを用いて発表の練習(個人)
- 第7時 タブレットを用いて発表の練習(個人、ペア)

◎第8時 タブレットを用いて発表の練習（個人、ペア、グループ）、クラス全体の前で発表

※帯活動として、今後の毎回の授業の最初に1人ずつクラス全体の前で発表予定

【本時の目標】

- (1) ①発表するときは、相手に伝わりやすくするために、アイコンタクト・笑顔・発音・話すスピード・スライドの角度などを意識することができる。
 ②発表を聞くときは、アイコンタクト・笑顔・あいづちに意識し、発表後はよかったところを発表者に対してコメントできる。
 ③録音した自分の発表を聞き直したり、クラスメイトが録画した自分の発表を見たりしてよりよい発表に向けて工夫することができる。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- (2) 自分が好きな有名人について、その人物の特徴（職業、出身、エピソード）をパワーポイントを用いてクラスメイトに対して発表し、伝えることができる。（外国語表現の能力）
- (3) 発表を聞き、先生やクラスメイトが紹介する人物について、その人物の特徴やなぜ好きなのか理由を知ることができる。（外国語理解の能力）
- (4) 既習の言語材料(When)を活用して相手に伝えることができる。例えば、過去形でその人のエピソード、I think that~を用いて自分の意見、want toを用いてしたいことを紹介することができる。(If I can meet him/her~, I want to~.)（言語、文化についての知識・理解）

【本時の指導過程および目標達成に向けて工夫する点】

	学習活動・学習内容	本時の目標達成に向けて工夫する点	ICT活用ポイント	使用機器
0:00 挨拶	T: Good afternoon, everyone. S: Good afternoon, Ms Shinkawa.			
ウォームアップ	写真を4枚見せて、それぞれの写真が誰なのかをペアで話し合う。 T: OK, everyone. Today you are going to talk about your favorite person. First, who are these people? Do you know them? Talk with your partner.	ペアで考えさせることで、考えようとする意欲を引き出させる。	スライドを投影することで、分かりやすく視覚的情報を与えることができる。	電子黒板 教師用タブレット パワーポイント
	ペアで話し合ったあと、写真を確認 T : Who is this person?			

	<p>SS: She is _____.</p> <p><u>クイズ</u></p> <p>教師が好きな有名人を予想する。</p> <p>T: Now. I have a quiz.</p> <p>Who is my favorite person?</p> <p>1) Michael Jackson</p> <p>2) Steve Jobs</p> <p>3) Lady Gaga</p> <p>4) Thomas Edison</p> <p>生徒は教師が好きな有名人を推測して、挙手する。</p>	<p>今回のテーマに関心を持たせる。</p>		<p>電子黒板 教師用タブレット</p>
<p>0:05 リスニング</p>	<p><u>Listening Task</u></p> <p>正解の人物を紹介する英文を教師が声に出して読む。</p> <p>T: “ Later, we will play kahoot!, so please listen carefully.</p> <p>Today, I’m going tell you about my favorite person. He is Steve Jobs. He is from California, the USA. He was born on February 24th, 1955. He is famous for producing apple products. I have i-pod i-pad and i-phone. They are very easy to use. I admire him because he is good at presentation. I think that he is very cool. If I can meet him, I want to learn how to make i-phone. Thank you.”</p> <p>聞き取れた情報を Kahoot!サイトを 使って確認</p> <p>T: Who do I like?</p> <p>T: Where is he from?</p> <p>T: Why do I admire him?</p> <p>T: What do I want to do if I can meet him?</p>	<p>リスニングのあとに kahoot!でクイズ (答えの確認) をすることを伝える。内容を聞き取ろうとする興味・関心につなげる。</p>	<p>匿名の投票機能を使用することで全員を参加させ、瞬時にデータとして何人が正答・誤答して</p>	<p>電子黒板 教師用タブレット 生徒用タブレット インターネットサイト “Kahoot!”</p>

			いるかを把握することができる。	
0:15 復習	<p>プレゼンテーションをする上での注意点を復習</p> <p>T: To be a good speaker, you need</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Eye Contact 2. Smile 3. Big & Clear Voice 4. Natural English 5. Natural Speed <p>(T: 実際に良い例、悪い例を示す) ⇒目的はコミュニケーションを図り、相手に自分の思いを伝えられること。</p> <p>T: To be a good listener, you need</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Eye Contact 2. Smile 3. Nod your head 4. Give comments 	自分の発表をするとき、相手の発表を聞くときのポイントに意識を持たせる	<p>スライドを投影することで、分かりやすく視覚的情報を与えることができる。</p> <p>スライドを作る際にアニメーションを効果的に使うことで、ヒントを与え、より多くの生徒が答えることができる。</p>	電子黒板 教師用タブレット パーポイント
0:20 練習	<p>【プレゼンテーションの練習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>個人で録音</u> 音楽が流れている間、自分で各スライドに音声を入れていき、各自で練習。 <p><u>録音再生</u> その後、ペア2で交換。ペアの発表内容を確認し、相手のよかったところを言い合う。</p>	<p>発表内容を何度も練習し、振り返ることにより、発音や発話するスピード等を定着させ、生徒の自信につなげさせる。</p> <p>静かすぎると、録音する声が小さくなってしまうため、雰囲気づくりとして音楽を流す。</p>	<p>パーポイントの録音機能を使い、何度か録音したのから、自分が納得がいったものを残すことができる。</p> <p>本番で発表している最中、暗唱内容を忘れてしまったとしても、再生して聞き、</p>	電子黒板 教師用タブレット 生徒用タブレット 生徒のパーポイント マイク付きヘッドホン CD CDデッキ

			<p>思い出すことができる。</p> <p>教師が授業後に生徒の発音等をチェックし、評価することができる</p>	
0:25 練習	<p>2. ペアで発表</p> <p>ペア1でタブレットを見せ合いながら発表しあう。</p> <p>発表後、相手の発表のよかったところを言い合う。</p>	<p>ペアで発表をし合い、互いに学び合い、自分の発表につなげさせる</p>		<p>生徒用タブレット</p> <p>生徒のパワーポイント</p> <p>マイク付きヘッドホン</p>
0:30 練習	<p>3. グループで動画撮影</p> <p>4人グループを作り、1人が発表。</p> <p>動画機能を使って、録画し、再生して4人で発表内容を確認する。</p> <p>(1人が発表者、1人が撮影係、2人が聞く役をしながらアドバイス。)</p>	<p>聞く役の子に協力してもらい、話すスピードやアイコンタクトなどができているかを確認する</p>	<p>動画再生機能を用いて、瞬時に自分の発表を振り返り、次への改善へつなげることができる。</p>	<p>生徒用タブレット</p> <p>生徒のパワーポイント</p> <p>カメラ機能</p>
0:40 発表	<p>4. 全体発表</p> <p>生徒2人が全体の前で発表する。</p> <p>発表後、他の生徒がよかったところを伝える。</p>	<p>発表者が緊張しないように、クラスメイトがアドバイスとエールを送る。</p>		<p>電子黒板</p> <p>教師用タブレット</p> <p>生徒用タブレット</p> <p>生徒のパワーポイント</p>
0:47 まとめ	<p>1 本時の学習内容を確認</p> <p>To be a good speaker, you need</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Eye Contact 2. Smile 3. Big & Clear Voice 4. Natural English 5. Natural Speed <p>T: To be a good listener, you need</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Eye Contact 2. Smile 3. Nod your head 4. Give comments <p>2 タブレットを使用する際の注意点</p>			

<p>0:50 挨拶</p>	<p>を確認【肖像権、著作権】 インターネット上の写真や画像をコピーして使用しているが、授業内では教育目的として使用を認められており、授業外では無断で他人の写真を使わないように確認。 次回から授業の初めに1人ずつ発表していくことを伝える T: Good-bye, everyone. S: Good-bye, Ms Shinkawa.</p>			
--------------------	---	--	--	--